

3 学期終業式校長講話

4年生の代表の6人が今までの10年の成長と、これからについて発表してくれました1人一人の成長とこれからの決意が伝わってくる立派な発表でした。

さて、3学期の始業式でしたお話を覚えていますか。『フシをつくる』です。

このことについて、「むのたけじ」という人がこう言っています。

しごとをすすめるさいは、竹がフシをつかって伸びるように、くぎりくぎりに結び目をつくりなさい。困難につきあたってあとずさりすることはあろうと、最後に結びおえた結び目から下には決して下がることのないように。



これを小学生のみなさんにあてはめると、

できるようになったこと、成長したことをしっかり身に付けておきなさい。うまくいかないことや困ったことがあっても、もとの自分に戻ってしまわないようにということです。

「転校したことをプラスにして友だちと仲良くすることを頑張り、できるようになった」

「毎日の犬の散歩を通して、寒い日でもどんな日でもがんばれるようになった」

「挑戦することで、前より算数ができるようになった。挑戦することの大切さを知った」

「自分を支えてくれている人の存在に気づき、思いやる気持ちと感謝の大切さを知った」

「自分から積極的に話をするができるようになり、友だちがふえた。転校を前に絆の大切さを知った」

「友だちの気持ちがわかるようになり、どんな時も人に優しくしようと決めた」

これが6人の4年生がこの1年、さらには10年間につくったフシでした。

みなさんのフシは何だったでしょうか。そして、来年はどんなフシをつくるのでしょうか。楽しみです。

3学期の「励まし・称賛・感謝」について振り返ってみましょう。三学期は特に「感謝」があふれていました。

①合唱団ではこんなありがとうございました。

- ・6年生にありがとう
- ・先生にありがとう

②いつも支えてくれている家族へ（6年生最後の参観日）ありがとう

・今日まで育ててくれた事への感謝 小学校生活を支えてくれた事への感謝

③お世話になったボランティアの方へ

④図書館や本にも1年間ありがとう。

細川先生が本を修理しています。本立てや本の整理をしてくれました。今年は一人1年間で平均150冊も読みました。すごいね。そして、今年は不明本が「0」でした。一冊もなくなることがなく図書館にもどってきました。校長先生はとってもうれしかった。どの本もちゃんと自分のお家に戻って来られて喜んでいるはずです。

⑤お世話になった教室へのありがとう。

⑥6年間お世話になった校舎にありがとう

⑦在校生から6年生への感謝。

退場するときは、再び5年生が感謝の気持ちを込めてさくら組の6年生への感謝とありがとうの会の準備の様子。

感謝に溢れた3学期でした。

明日は卒業式です。

卒業生をお祝いする式です。同時に1年生～5年生も一つずつ学年が上がる節目になる行事でもあります。1年間成長した姿を見せる場所です。そして、6年生に心から「ありがとう」の気持ちを伝える最後の場所です。

歌声、座っているときの姿勢、礼やお辞儀、全身でありがとうの気持ちを伝えましょう。

最後に「雨にも負けず」を全員で唱えて、3学期を終わらしましょう。

<雨にも負けず>

